

<第1回 JARIP 研究会「公的年金の財政予測」実施の報告>

2003年12月17日(水)午後3時30分より、ニッセイ日比谷ビル6階AV会議室にて第1回研究会を開催しました。当日はニッセイ基礎研究所との共同開催という形で行われたこともあり、合計24名(JARIP会員11名)の参加がありました。

研究会では、ニッセイ基礎研究所：臼杵・北村・中嶋氏より「厚生年金財政の予測とリスク分析」のテーマで2004年公的年金改革、年金財政予測モデル、シミュレーション結果について発表がなされました。続いて、Robert L. Clark教授より米国における当分野での確率的アプローチを含む最新の取り組み、それに付随する問題点等のコメントがあり、最後にそれらを踏まえて、参加者間で活発な質疑応答が行われました。



当日は、保険会社・銀行・行政当局等で年金実務・政策決定に従事される多くの方々のご多忙のなか参加されました。研究会のテーマが社会問題として最も注目されているトピックのひとつである公的年金改革に直接関連するテーマであるということもあり、ニッセイ基礎研究所における研究成果を共有化し、また各方面からの参加者によって活発な議論が行われたことは、大変意義深いものでありました。